



雨を描いてみる



垂れていくさまを「あめ」



「ざー」言いながら



透明なのが雨、絵の具をつけず



溜まった色だまりを「水たまり」

朝から雨の日  
外遊びに出られないことが分かっている子どもたち  
テラスに出て、いつもの絵具遊びをしました。

『描いてみたら、そう見えた』  
『思うように描いてみたい』  
が、混在している様子

じっと…しばらく雨を見つめてから、筆を動かす姿が印象的でした。

「今からお絵描きを始めます」と一斉に同じものを描く経験よりも  
心を動かされたときに描ける経験をくりかえし、  
絵を描くこと、自分を表現することが大好きになるといいなと思います。

R3・11・10